

(ロ) これから新しく数值(寸法等)を定める工業製品に対しては、是非共標準数によることをおすすめする。ただしこの場合と雖も強制的にそうすべきであるというのではない。しかし将来世界各国の製品が標準数によることになるであろうこと、自社内のみでも標準数を用いた方が種々の便利があること、の2点を考え合せると、もし新たに数量段階を定めるべき場合があれば、許す限り標準数を用いられるのが自他共に有利である。

(ハ) 上述のごとく標準数の使用ということが目下のところ強制されたものでなく、単に推奨されたものであり、しかも旧来の寸法標準数等も(いずれは廃止されるであろうが)少くとも一部に使用されるのでは、折角標

準数を定めた効果が薄いではないか、との議論は当然おこり得る。しかし之はわが国の工業界の実状に照応し漸をおうて標準数一本化に進むべきであつて、その中間期において多少の不便を来すのは忍ぶべきであろう。そして先ず実行しやすいものから着手し、あらゆる機会を利用して標準数化に努力すれば、数年後或いは十数年後には非常な広範囲の工業品に之が浸透し、お互いに絶大な利便を得ることになる。

現在の僅かばかりの骨折や配慮によつて子孫にまで好い結果をもたらし得ることを思い、つとめて標準数の採用に協力して頂きたいのである。(工業技術院標準数専門委員会臨時委員 鬼頭史城氏寄稿)

＝ 日本鐵鋼協會編最近刊行物 ＝

本会編の下記図書は何れも新版または改訂版で、各方面より好評を得て居ります。御希望の方は発行所丸善(東京都中央区日本橋通2丁目6番地丸善株式会社)へ直接御申込下さい。

- | | | |
|---|--------------|-----------------------|
| (a) 鐵鋼便覽
(昭和29年4月25日発行) | A5判 函入 1000頁 | 定価 1600円
総革装 2200円 |
| (b) 鋼の熱処理と作業標準(増補第3版)
(昭和29年6月20日発行) | B5判 | 295頁 定価 650円 |
| (c) 熱經濟技術要覽(計測編)
(昭和28年12月10日発行) | A5判 | 440頁 定価 850円 |

(d) 鋼塊用鑄型に関する研究(昭和29年7月本会発行) 頒価一部 550円 〒48円
(日本鐵鋼協會研究部会鑄物部会鑄型研究会報告)

(e) 鋼材壓延用鑄型ロールに関する研究(昭和29年8月本会発行) 頒価一部 520円 〒48円
(同上鑄物部会ロール研究会報告)

此の度上記(d)(e)の書籍が刊行され研究部会々員に分譲されましたが、まだ少々余部がありますので、御希望の方は頒価及び送料を添えて本協会へ御申込下さい。

(f) 日本鐵鋼協會會員名簿(昭和29年1月1日現在) 頒価一部 300円(送料共)
(附定款並に諸規則) (" " 3月本会発行)

會員名簿はまだ余部がありますので御入用の方は代金を添えて協会宛お申込み下さい。